

『くらしをささえる乗りもの 飛べ！山小屋ヘリコプター』
星野 秀樹 写真 池田 菜津美 文
新日本出版社

槍ヶ岳のひょう高3080メートルにある山小屋と山のふもとをつなぐのは、山小屋ヘリコプター。1週間に1回、食べものや飲みものをまとめてはこびます。整備士のチェックを終えて、いざ出発！ひとつめの山小屋への配達が終わったら次の山小屋へ。とどけられた荷物は、山小屋にとまる登山者の食事やお土産になります。



『ペット探偵事件ノート 消えたまいごねこをさがせ』
赤羽 じゅんこ 作 中田 いくみ 絵
講談社

学校からの帰り道、宙は幼なじみの弥生から話しかけられました。「うちのねこ、ソックスがいなくなったの」。

ペット探偵をしている源おじさんと、「ペット探偵七つ道具」を使ってさがし始めますが、6番目の道具はせんたくネット。何に使うのでしょうか？そして7番目は…。



このリストは、2024年に出版されたなかから3・4年生のみなさんにおすすめの本を掲載しています。

しながわとしまかん 品川図書館	きたしながわ 北品川2-32-3	TEL 3471-4667 FAX 3740-4014
ふたばとしまかん 二葉図書館	ふたば 二葉1-4-25	TEL 3782-2036 FAX 3782-9430
えばらとしまかん 荏原図書館	なかのぶ 中延1-9-15	TEL 3784-2557 FAX 3784-8951
みなみおおいとしまかん 南大井図書館	みなみおおい 南大井3-7-13	TEL 3761-6780 FAX 3768-7976
げんじまえとしまかん 源氏前図書館	なかのぶ 中延4-14-17	TEL 3781-6273 FAX 5702-4190
ゆたか図書館	ゆたかちよう 豊町1-17-7	TEL 3785-6677 FAX 5702-4035
おおいとしまかん 大井図書館	おおい 大井5-19-14	TEL 3777-7151 FAX 3777-4970
ごたんだとしまかん 五反田図書館	にしごたんだ 西五反田6-5-1	TEL 3492-2131 FAX 3492-4995
おおさきとしまかん 大崎図書館	きたしながわ 北品川5-2-1	TEL 3440-5600 FAX 3440-5604
おおさきとしまかんぶんかん 大崎図書館分館	おおさき 大崎3-12-22	TEL 3491-3430 FAX 3491-3291
やしおとしまかん 八潮図書館	やしお 八潮5-10-27	TEL 3799-1414 FAX 3790-3442
おおさきえきにしろ 大崎駅西口 図書取次施設 (おおさきこども図書室)	おおさき 大崎2-11-1 大崎ウィズシティテラス2階 (おおさきこども図書室)	TEL 5487-6551 FAX 5487-6588

休館（所）白、開館（所）時間などは、各図書館・取次施設におたずねください。

このリストの書影は、各出版社の許諾を得得て使用しています。

よんでみたいな！

3・4年生



『机の下のウサギチ』

岡田 淳
偕成社

しながわくりつとしまかん
品川区立図書館

『あたしデイズ』

いとう みく 作 平澤 朋子 絵
新日本出版社

1泊2日の移動教室の班決め。睦月は、仲良しのガッコとコマリといっしょのつもりでいたら、2人はだまって他の子と班を組んでしまった。その後も2人は睦月をむしする。どうしてきられたのか分からず、コマリに聞くと、「言わなきゃわからないの?」「自分で考えなよ」と言われてしまい…。



『新幹線でつなぐ！にっぽん発見のたび 東海道新幹線』

山崎 友也 監修
ほるぷ出版

東京から新大阪をつなぐ東海道新幹線。この本では、おなじみの「のぞみ」や試験走行中の超電導リニア、停車する駅の周辺の情報が紹介されています。ながめているだけで、旅行に出かけた気分になります。他の巻では東北新幹線や九州・西九州新幹線も取り上げています。



『アナトール パリの空をとぶ』

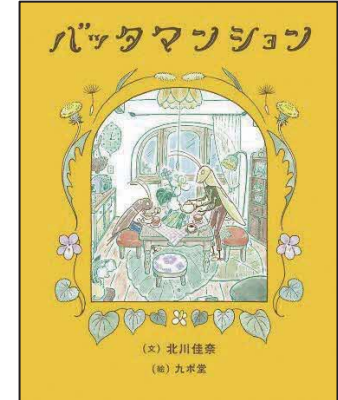
イブ・タイタス さく ポール・ガルドン え
石津 いしづ ちひろ やく 好学社 こうがくしゃ

ある日、ねずみのアナトールは古い大だこを見つけて持ち帰り、家族や友だちのガストンといっしょにやぶれた場所を直していました。するととつ然ライオンのうなり声のような風が吹き、大だことねずみたちはパリの空に飛ばされてしまいました。
ねずみたちは無事、地上にもどることができるようか…。



『バットマンション』

北川 きたがわ かな ぶん 文 九 九 ぼ 堂 きゅう どう え 絵 アリス館 りす かん



虫たちがくらす小さなマンション、通しょう「バットマンション」。キリギリスはマンションのひびが10本になったら、でていくと決めています。ついに10本目が見つかり、大家さんのところへ行きますが、いつもたよりにしているといわれて、ひっこしいといえなくなってしまい…。虫たちの短いお話が5つ入っています。

『ひき石と24丁のとうふ』

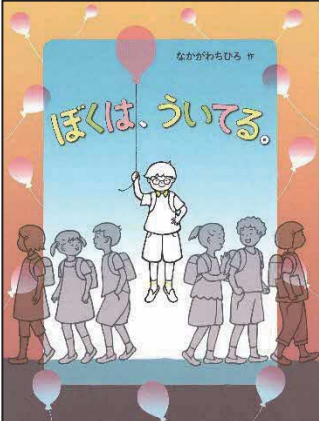
大西 おおにし のぶお 暢 夫 著 ちょ 著
アリス館 りす かん



ここは、岩手県の人里はなれた山の中。90才のミナおばあちゃんが一人でいとなむとうふ屋がある。
「ひき石」とよぶ石うすを手で回し、24丁のとうふを作る。昔ながらの手作りどうふ。まきをくべ、すりつぶした大豆をにたたせる。にたつと、ふわ～といい香りがした。そして…。

『ぼくは、ういてる。』

ながわ ながわ ちひろ 作 ちひろ 作
のら書店 しゃてん しょ



ぼくは、ときどき ういている。ちょっとだけね。だいたい 20センチか 30センチくらい。まわりからは、ぼんやりしているように みえるらしくて、しかられたり、わらわれたり、おいていかれたりする。
だけど、いやなことばかりでもない。ういていると、おもいがけないものが みえるんだ。きょうだって…。

『机の下のウサキチ』

岡田 おかだ じゅん 淳 さく 作 かいせいしゃ 偕成社



一平は、おじいちゃんの書斎の大きな机で写真集をながめながら、るすばんをしていた。あらしで停電になったのでランタンをともし、雷鳴からのがれるために机の下にもぐりこむと、むこうに明るいものが見えた。
はうようにすすむとそこは草原で、一平のことをキョチとよぶ、きよ大なウサギのウサキチが待っていた。

『くろい はまべーアースデイのはじまりー』

ショーナ&ジョン・スティス ぶん 文 マリベル・レチューガ え 絵
武富 たけとみ ひろこ 博子 やく 評論社 ひょうろんしゃ



1969年、アメリカのサンタバーバラ沖で石油会社が事故を起こし、大量の油が海に流れ出て、はまべも、海も、まっくろになってしまいました。町の人々は政治家に注目してもらうため立ちあがります。
やがてこの事故のニュースが広まり、環境について考え、行動する「アースデイ」が始まります。

『動物の義足やさん』

沢田 さわだ としこ ぶん 俊子 文
講談社 こうだんしゃ



保護された犬の譲渡会で、白い子犬があやかちゃんの目にとまりました。「ママ、この子、左のうしろ足がないよ。」お母さんはためらいますが、心配するあやかちゃんのために引き取ることになりました。
その子犬に義足を作ってくれる人がいました。島田旭緒さん。3万点以上を作ってきた動物の義足やさんです。

『釣って 食べて 調べる 深海魚』

平坂 ひらさか ひろし ぶん 寛 文 キッチンミノル 写真 ながしま ゆうせい え 長嶋 祐成 絵
福音館書店 ふくいんかんしょてん



水深500メートルの深い海にしかけをしずめる…。何かがかかった！ニョロニョロの体に、満月のようにかがやく大きな目。ヘラツノザメです。さし身にすると、きれいな白身。味は…？
日本の周りは深海だらけ。そこには、たくさんのふしぎな姿の深海魚がいます。釣って、食べて、調べましょう。